

五十嵐信 （おらひ） 社會學者。明治二十二年四月十四日福島市新町生れ、
昭和二年八月二十日歿（一九〇一—二八）。父正は牧師。京都帝國大學文學
部哲學科卒。同期生に曲谷啓治、戸坂潤等がある。大谷大學教授、ま
た母校講師となり、ジーンメル著『社會的分化論』（昭和二年三月十五
日岩波書店）を譯刊するも、ドイツ留學中前に病歿。

『五十嵐信遺稿集』（昭和五年四月）は京都帝國大學社會學讀書會（
ひは、フナイーアカントの社會學概念に於ける（二）の問題）、フオ
ン・ワイーゼの社會學概念」等の主要論文を収む。ハ私が東京を去つ
て、まだ一度も訪れたことのない京都へ行きたいという気持ちになつた
のは、結局、この五十嵐信という若い研究者、彼を去つた京大の条件、
それが私の心を強く惹きつけていたからである。……彼は、光を放ち
ながら私の前を一直線に駆け抜けて行った（清水幾太郎）。



五十嵐信遺稿集

